

こんにちは 新社会党です

東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3階 TEL 03-6380-9960 FAX 03-6380-9963

週刊新社会

2016年10月号

発行所：新社会党 発行者：松核健宏
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3階
TEL 03-6380-9960 FAX 03-6380-9963
振替 00140-0-149727 1ヵ月600円 164円1部150円 41円
http://www.sinsyakai.or.jp E-mail/honbu@sinsyakai.or.jp

安倍首相の所信表明演説 世界一暮らしやすい国!?

嘘の先に改憲、なめられてたまるか!

第192臨時国会が開会し、安倍首相が所信表明演説をしました。言葉は政治家の命などと言われますが、安倍首相の演説は口先だけの巧言の類。戦争を平和と言いくるめ、言葉が軽く宙を舞い、政策のメッキは日に日に剥がれていきます。第2次政権で8度目の演説で掲げた「ニジンは「世界一暮らしやすい国」。その輝かしい未来に一億一心で挑戦しようと呼びかけました。しかし、その目的地は「憲法改正」です。こんなはずではなかったと転ばぬ先の杖こそ大事です。

嘘まみれの東京五輪

安倍演説は、4年後(2020年)の東京五輪を「世界一の大会」にする」と大見栄を切ることに始まりました。何をもって世界一なのか不明、しかし嘘まみれの例のない大会であることは折り紙つきです。招致に当たり原発事故の放射能はコントロールされていると嘘をつき、当初の開催費用約7000億円が3兆円に膨らみそうです。その付けは国民に、それだけ暮らしは苦しくなります。

原発事故はなかった!?

熊本や東北の災害復興に全力を挙げるのは当然のこと。とくに福島原発の災害復興では住民の帰還へ環境整備をするといいますが、実態は被曝基準を20ミリシーベルトに上げ、しかも月々の補償は打ち切つての強制帰還。

東京五輪までに原発事故はなかったように蓋をし、わき目も振らず再稼働、廃炉の費用は電気料金に上乗せ。原発は庶民の暮らしの敵です。演説には原

発のゲの字もありません。

TPPの大波が襲う

安倍演説は「世界一暮らしやすい国」へアベノミクスの加速、一億総活躍、地方創生・農政新時代を3本柱にあげました。アベノミクスで政策を総動員しましたが、デフレ脱出、景気循環は道半ば。日銀のマイナス金利でも効果なし、年金基金を博打同然につき込んだものの株価は思惑が外れ、国・地方の借金だけが増え、地方は疲弊するばかりです。そこへTPPという大波が農林水産業ばかりか、あなたの暮らしに襲いかかります。

3年後に消費税増税

あなたの賃金は上がりましたか? 保育所の待機児童は解消されましたか? 非正規労働の蟻地獄から抜け出せましたか? 男女平等、同一労働同一賃金は実現しそうですか? 老後の生活不安はなくなりましたか? 年金・医療・介護の心配はなくなりましたか? お

そらく国民の大多数はノーでしょう。なのに、安倍演説は消費税の10%への引き上げを3年後(2009年10月)に実施すると公約しました。

沖縄弾圧を隠し通す

安倍演説は「世界一信頼される国」とも言いました。何をもちて信頼されるのか、皆目不明ですが、おそらく「地球儀を俯瞰し「積極的平和主義」の展開はその一つでしょう。昨年、強行成立させた安保法制により、自衛隊は南スーダンの戦地での戦闘の準備に余念がありません。なのに、演説はそのことには一切触れていません。

沖縄では県民の民意を警察・海上保安庁・自衛隊が一体となって弾圧しているのに、安倍演説は「基地負担の軽減」のためと大嘘を吐きました。沖縄県民の暮らしの場が奪われ、自衛隊員の命が危険にさらされようとしています。

改憲へ挑戦を宣言

安倍首相が悲願とする「憲法改正」、これこそ「未来への挑戦」の正体です。演説は憲法審査会が改憲案を議論し、国會議員が提示し、国民が(投票で)決めると、改憲の手順に踏み込みました。戦後初の事態です。安倍演説は東京五輪まで任期を務め、悲願の改憲を果たすと宣言したものです。安倍政権にこれ以上なめられてはなりません。



国会は今

おごる自公政権、なめる官僚

自公3分の2議席
ツケは国会の審議軽視に

第192臨時国会が11月30日までの日程で開かれています。臨時国会は借金まみれの中、リニア中央新幹線など大型事業を軸にした約3兆2000億円の補正予算、亡国のTPP批准などの審議が予定されています。

ところが、国会で絶対多数を握った安倍政権と自公与党の不真面目さとおごり、各省庁・官僚の国民と国会をなめた対応は目を覆うばかりです。

首相も閣僚も厚顔無知露呈

安倍政権になってから、国会審議や立法過程がいかにけんになりました。それमおのほず、行政府の長である安倍首相自らから「私は立法院の長」(2016年5月)と答弁するありさまです。

勘違いでは済まされません。しかも同じ間違いを2007年にもしています。その間違いを国会議事録では勝手に「行政府の長」に書き換えてしまいました。

首相が首相なら、閣僚も数々の暴言や無知をさらけ出してきました。歯舞諸島が読めなかった前沖縄・北方担当相、年間被ばく線量を「ミリシーベルト」は何の根拠もないと述べた前環境相など、例を挙げればきりがありません。

国会運営 いい加減な議事録

さらに国会に提出したTPP(環太平洋経済連携協定)の協定和訳文では18カ所の誤訳が指摘されました。重要案件と豪語する安倍政権提出の協定案文が誤訳だらけでは審議はできません。

また、安倍政権が安全保障関連法(戦争法)を閣議決定する事前の内閣法制局の決済日が「5月0日」と、日にちが記載されていないことが発覚。そういえば昨年9月の戦争法の委員会採決の議事も会議録も、いいかげんでした。

自民党は安倍翼賛の指定席

臨時国会冒頭の所信表明演説で、安倍首相は南西諸島で「夜を徹して、そしてこの瞬間にも海上保安庁、警察、自衛隊の諸君が任務に当たっています」とし「この場所から敬意を表そう」と呼びかけました。これに対し、自民党議員のほとんどが立ち上がり、20秒間、拍手が国会に響く、前代未聞の異様な光景が生まれました。安倍首相の壇上でのヒットラーばりの演説と呼びかけに、自民党席は今や「翼賛会」と化しました。

こんな国会の現状では、まともな審議はできません。国会のあきれた状況に忍び込むのが、税金を無感覚に私物化する財界と官僚です。

官僚と財界、税金の私物化

臨時国会の補正予算案にはリニア中央新幹線前倒し建設に3兆円が組まれました。また経産省は、福島第一原発の廃炉費用を新電力に転嫁させ、事実上国民が電気料金を負担することを検討中です。「年度予算案では社会保障関連費などは削減、対して軍事・防衛関係予算は5年連続の増加。安倍政権と自公両党の劣化、国会審議の軽視が財界と官僚が思いのまま予算が組めるうま味を生み出しています。

地方自治体も議会が劣化

また、国債の大量発行で国の負債が膨大になろうと「明日は明日の風が吹く」とでもいう態度で、責任は一切とりません。地方自治体でも議会のチェック機能が低下、審議は形骸化するばかりです。政務活動費の私的流用、自民党をはじめとした議会与党の質の低下と少数会派への差別的運営など、同じような問題が全国で生じています。これらは東京都の豊洲移転問題の要因の一つといえます。

今、議会制民主主義そのものが問われています。あなたの住む自治体と議会に憲法に基づく住民自治が生かされているでしょうか。



新社会

お問い合わせ先